

「ココロ」と命名

きびじつるの里のタンチョウ

6月にきびじつるの里（三須）で生まれたタンチョウの子どもの名前が、一般公募で「ココロ」に決まり7月25日、同所で命名式を行いました。

名前は、吉備タンチョウの会と市が募集し、市内の中学生以下の子ども324人から応募のあった329点（222種）から決定。東日本大震災からの復興中の今、「心のやさしい」という点と親しみやすさなどが評価され選ばれました。

命名者は、横田あいさん（総社東小1年）、高杉将輔くん（総社東小2年）、板野煌くん（泰幼稚園）、森田満奈穂さん（総社北小4年）の4人です。



命名式で「いい名前をありがとう」とあいさつする吉備タンチョウの会の水野会長

ミニフォト

立体メガネはおもしろい



立体メガネを楽しむ子どもたち

岡山県立大学の教員が講師の工作教室が8月10日、同大学で開かれました。小学生20人が参加し、2枚の写真が立体に見える立体メガネを制作。子どもたちは、興味深そうに説明を聞き、熱心に作品作りに取り組んでいました。

手作りおもちゃで楽しく遊ぶ



もぐらたたきを楽しむ子ども

「いっしょにあそぼ！」が8月4日、総合福祉センターで開かれました。訪れた約120人の子どもは、的あてや輪投げ、もぐらたたきゲーム、牛乳パックとペットボトルで作る車などの手作りのおもちゃで楽しく遊んでいました。

日本語と文化を学ぶ



鬼ノ城で説明を聞く学生

韓国のウソン大学の短期留学生14人が7月27日から8月6日まで、岡山県立大学で日本語や文化を学びました。学生は、日本語を学んだほか、中央公民館のハンブル語講座生との交流や、鬼ノ城や備中国分寺などの見学をしました。

記録更新を目指して



懸命に泳ぐ子ども

学童水泳記録会が7月27日、市スポーツセンターのプールで開かれました。市内の小学生約400人が出場。客席から大きな声援が飛び交うなか、クロールや平泳ぎの種目で、記録更新を目指し一生懸命泳いでいました。

アフリカのリズムにのって



ジャンベをたたく子どもたち

アフリカの太鼓であそぼ！が7月16日、清音公民館で開かれました。親子連れら約30人は、まず、アフリカの太鼓「ジャンベ」のたたき方や基本的なリズムを練習。最後は、アフリカのリズムにのり、参加者全員で演奏を楽しみました。

雪舟さんに思いをはせて



座禅をする子ども

雪舟さんを知ってもらおうと市文化協会は8月4日、宝福寺で雪舟体験学習を開催しました。26人の小学生が参加。雪舟が涙でネズミを描いた逸話を聞いたのはじめ、座禅や絵を描く体験を通じ、雪舟さんに思いをはせました。



雪舟フェスタの総おどり [8/6]

おどりや花火を楽しむ

夏まつり

総社市民まつり「雪舟フェスタ」をはじめ、7月から8月にかけて、市内各地でさまざまな夏まつりが開かれ、夏の一夜を楽しむ人々にぎわいました。



夏祭りやまで [7/23]



雪舟フェスタのええとこ囃し [8/6]



雪舟フェスタの花火 [8/6]



新本の義民祭 [7/16]



総社宮の輪くぐり [7/30]



清流まつり [7/30]



阿曾の火まつり [8/5]

パンやアユの塩焼きでまんぷく



アユを塩焼きに

高間やまびこまつりが7月17日、高間キャンプ場で開かれ、約300人の親子連れが、夏の一日を楽しみました。参加者は、竹馬や水鉄砲づくりを体験。また、パン焼きやアユの塩焼きなどを楽しみながらまんぷくになっていました。

川の水のきれいさを調べた



水生生物の説明を聞く参加者

川の水のきれいさを判定する水辺の教室が7月23日、榎谷川で行われました。親子連れ約40人が参加。参加者は、川に入って採取した水生生物の数を、判定表に従って集計しました。結果、きれいな水との判定結果でした。

ゴールを目指してボールを追う



ボールを追う子ども

三渡海サッカー大会が7月17日・18日、23日・24日、総社北公園ほか市内6か所で開催されました。県内外から小・中学生189チームが参加。子どもたちは、パスをつなぎ、ゴールを目指してボールを追いかけていました。